

必ずお守りください 安全上のご注意 ▶

警告

<アルカリ電池について>

- ショートさせたり、分解、加熱、火への投入などは行わないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

注意

<掛け方について>

時計は**確実に**掛けてください。時計の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、本製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は、同梱の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』も必ずお読みください。記載された場所以外に取り付ける場合は、建築メーカーなどにご相談ください。※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右、そして手前に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。



厚い木の壁・木の柱に掛けるとき	付属の木ねじをご使用ください。
石膏ボードの壁に掛けるとき ※製品によっては、掛け具が付属しないものがあります	付属の掛け具（掛金具、釘）をご使用ください。付属していない場合は、市販の掛け具をご使用ください。
コンクリートなど、上記以外の壁や柱に掛けるとき	付属の掛け具は使用しないでください。市販の掛け具をご使用ください。※市販の掛け具によっては、正しい掛け方ができない場合があります。上記のく掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

<時計の設置場所について>

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂によるけがの恐れがあり、また、機器の故障の原因となります。

- 電池は必ず⊖側から入れてください。また、⊕⊖を正しく入れてください。
- 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておく、古い電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破損の恐れがあります。
- 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けしないでください。
- 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- 時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布などでクリーニングしてください。
- 付属の電池は、工場出荷時に同梱された、動作を確認するためのモニター用電池（お試用電池）です。したがって、お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<時計と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

<液晶パネルについて>

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合は、付着物をろき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

必ずお読みになってからご使用ください ▶

使用場所・携帯時について

下記のような場所では使用しないでください。また、携帯時には**ご注意ください**。時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。（例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。空气中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まる場合があります。
- 浴室など湿度が90%以上になる所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
- 木枠の時計の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。
- 寒い所から暖かい所への移動などによる、急激な温度変化を避けてください。（結露に注意してください）

本製品をご使用の際は、できるだけ電波を受信しやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件の下では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

- ビルの中、ビルの谷間、地下
 - 高圧線、テレビ塔、鉄道の架線の近く
 - 冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の発生しやすい所
 - 乗り物の中（自動車、電車、航行機など）
 - スチール机など、金属製の家具の上や近く
 - 電波ノイズや各種電波を発生させる機器の近くなど
- ※電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。

お手入れについて

未永くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をお勧めします。詳しくは販売店にご相談ください。

- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

- 枠を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾ふきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾ふきしてください。

※お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、けがの恐れがあり大変危険です。さらに、保証の対象外となりますので、ご注意ください。

液晶パネルについて

- ・見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- ・温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- ・また、温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- ・液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。が、しばらく放置しますと元に戻ります。

温度・湿度について

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
- 温度・湿度が以下の状態になったときの表示
 - ・温度 -30℃より低い : 「Lo」 +60℃より高い : 「Hi」
 - ・湿度 20%より低い : 「Lo」 90%より高い : 「Hi」ただし、湿度範囲は温度が0℃～+60℃以外の状態では「—」と表示されます。◇センサーは経年の変化によって、精度が低下することがあります。◇湿度は空気中の水分の割合です。必ず空気が循環する場所に設置してください。

製品の特長 ▶

- GPS衛星からの時刻情報を受信して正確な時刻を表示します。
- 最短10秒で受信が完了します。
- 海外でもご使用いただけます。◇標準時（時差）、サマータイム機能などの設定が必要です。
- ◆機能
 - ・広い視野角の液晶パネルを搭載
 - ・カレンダーに加え、温度、湿度、六曜を表示
 - ・電池切れ予告機能
 - ・時刻とカレンダーの表示が切替可能
 - ・置いて使えるスタンド付

製品仕様 ▶

（改良のため予告なく変更する場合があります）

- 時間精度 : 平均月差±30秒（受信による時刻修正を行わない場合/気温5～35℃で使用した場合）
- 表示精度 : ±1秒（受信による時刻修正を行った場合）
- 使用温度範囲 : -10℃～+50℃（表示判読可能温度範囲：0℃～+40℃）
- カレンダー : 2001年1月1日～2100年12月31日のフルオートカレンダー（月末、うるう年とも修正不要）
- 温度測定範囲 : 0～+40℃（測定範囲内での精度±2℃）
- 湿度測定範囲 : 25%RH～85%RH（測定範囲内での精度25℃で±8%）
- 六曜表示 : 2001年1月1日～2030年12月31日
- 表示 : 日付（月/日、曜日）、六曜、午前/午後表示による12時間制または24時間制表示、周囲温度（℃）・湿度（%）
- 使用電池 : 単2形乾電池 6個
- 電池寿命 : 約3年※単2アルカリ乾電池（LR14）6個を使用時
- 受信機能 : 自動受信（最多1日4回）
 - ・受信から次の受信まではクオーツの精度で動いています。手動受信
- 時刻合せ機能: GPS衛星からの電波受信による自動セットまたは手動セット
- 標準時設定 : 時差 …±14時間まで（設定単位：30分）分調整…±60分まで（設定単位：1分）
- サマータイム: ON/OFF（ONの場合…開始/終了の月・週（日曜日固定）・時間の設定が可能）
- 電池切れ 予告機能: 電池交換マークを表示して、電池交換時期をお知らせします。

◇電池寿命は、ご使用状況により変わります。

故障かな？と思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考に調べてください。なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
表示しない	・電池が入っていない ・電池の容量が少ない ・電池が正しい向きに入っていない	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください
「--:--」や「--/--」を表示する 時刻またはカレンダーの表示が欠けている	・リセット後、受信が成功していない ・電池の容量が少ない ・きちんとリセットされていない ・静電気による誤作動	・ 「■電波を受信できなかった場合」 をお読みになり、再度受信させてください ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください ・電池を入れ直してから確実にリセットボタンを押してください
時刻が合っていない	・受信が成功していない ・電池の容量が少ない	・ 「■電波を受信できなかった場合」 をお読みになり、再度受信させてください ・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください
サマータイムの設定ができない 秒が合っていない	・標準時（時差）やサマータイムが設定されている ・カレンダー情報が受信できていない ・うるう秒が受信できていない	・設定ボタン（進む）を押して設定をご確認ください ・手動で再度受信させてください ・手動で再度受信させてください

掛時計

取扱説明書

衛星電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

説明書番号 FGP-009Q

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご承知ください。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明な点がございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。

（例：AM000、KRO00、SQ000など）

お客様相談室 0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp

発売元

セイコークロック株式会社

保証・アフターサービス ▶

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店が預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、または無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、販売店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、けがの恐れがあり大変危険です。さらに、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

衛星電波クロックについて

- 衛星電波クロックとは**
GPS (Global Positioning System : 全球測位システム) 衛星から送信される時刻情報を受信して、正確な時刻を表示する時計です。衛星にはおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ原子時計が搭載されています。本製品は世界中どここの場所でも1基以上のGPS衛星から時刻情報を受信して、時刻を合わせる時計です。(※本製品は時刻情報のみを受信し、位置情報は取得しません。)
- タイムゾーン、サマータイムについて**
協定世界時 (UTC : Coordinated Universal Time) を基準にして、その国や地域ごとに共通に使う標準時があります。標準時は協定世界時との差 (時差) で表し、それぞれの国や地域によって決められています。同じ標準時を使う地域をタイムゾーンといい、現在では39のタイムゾーンに分かれています。また、国や地域によって夏の間、太陽の出ている時間帯を有効に活用する目的で現行の時刻に1時間を加えたサマータイム (DST : Daylight Saving Time) を実施しています。本製品は日本の標準時である『+9時間』が設定されています。海外でご使用する場合は、その国、地域のタイムゾーンから標準時の設定及びサマータイムの設定を行う必要があります。

付属品 ご使用前にご確認ください

- 取扱説明書 (本書) 1枚 ●保証書 1枚 ●モニター用電池 (単2形乾電池) 6個
 - 木ねじ1本 (厚い木の壁、木の柱専用) ●製品のお取扱いに関する重要なお知らせ 1枚
- ※付属の電池は、動作を確認するためのモニター用電池 (お試用電池) です。お買い上げ後、仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
※石膏ボード用掛け具 (掛金具1個、釘5本 (うち1本は予備)) は、製品によって付属しません。

はじめに

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みの上、ご使用ください。
※製品によって表示部にシールが貼ってありますので、ゆっくり剥がしてください。(このとき静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。)

ご使用方法

1. 電池を入れてください (単2形乾電池 6個)

裏面のふたを開けて、⊖側から入れてください。
電池は⊕⊖の向きを間違えないように注意してください。
※種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
※充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

2. [⑤リセットボタン]を押してください

表示が全てついた後、時刻と日付は「-- : --」を表示し、電波の受信を開始します。

- 受信中は受信マーク  が変化します。
- 窓際などできるだけGPS衛星からの電波を受信しやすい場所で行ってください。
- 受信に要する時間は、最短10秒です。(最長約50分間)

＜受信に成功した場合＞
現在時刻と日付が表示されます。
◇しばらくの間、受信マーク  が変化します。



【例：受信に成功】

＜受信できなかった場合＞
時刻または日付部に「-- : --」が表示されます。(下図参照。)

⇒右記「**電波を受信できなかった場合**」に従って、場所を変えて再度受信させるか、**手動操作で現在時刻に合わせてください。**



【例：受信できなかった場合】



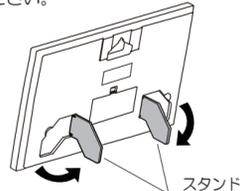
【例：カレンダー情報が受信できなかった場合】

3. 時計を設置してください

本機を使用したい場所に掛けてください。
※窓際や時計正面方向に窓があるなどできるだけGPS衛星からの電波を受信しやすい場所に掛けてください。
◇付属の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』に従って、本製品を正しく掛けてください。

◇ この時計は掛時計・置時計兼用でご使用になれます

- 置時計としてご使用になる場合
しっかりと裏面のスタンドを立てて水平で振動などがない場所に置いてください。無理な荷重を加えないでください。スタンドが破損することがあります。

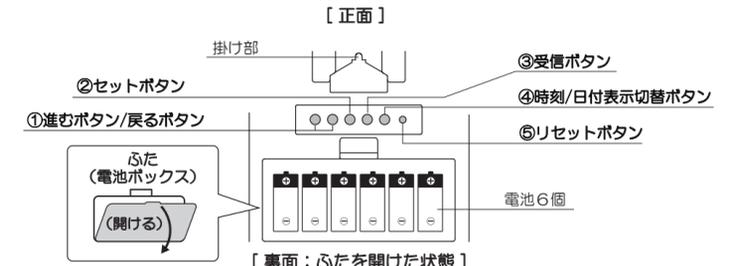
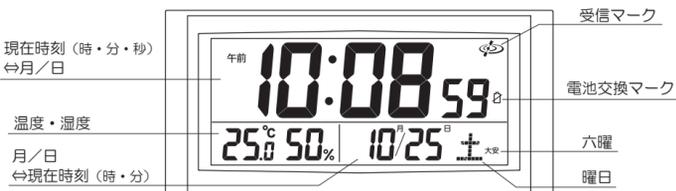


- 掛時計としてご使用になる場合
掛ける際に、必ず裏面のスタンドが出ていないことをご確認ください。

時刻表示と日付表示を切り替えるには

[④時刻/日付表示切替ボタン]を押すごとに時刻と日付の表示位置が切り替わります。
◇日付表示を時刻表示に切り替えた場合、秒は表示しません。
◇時刻または日付部が「-- : --」表示の場合 (時刻またはカレンダー情報が受信されていない場合)、表示の切り替えはできません。

各部の名称 時計のデザインにより電池、ボタンの位置等は異なる場合があります



- ①進むボタン/戻るボタン 手動で現在時刻や時差、サマータイムなどを合わせるときに使用します。
- ②セットボタン 現在時刻の手動操作および海外で使うときに使用します。(押し続けます。)
- ③受信ボタン 受信を開始します。(受信中に押すと受信を中止します。)
- ④時刻/日付表示切替ボタン 時刻と日付の表示位置を切り替えます。
- ⑤リセットボタン 初期化を行います。(電池交換後は先端の細いもので必ず押してください。)

受信機能について

■ 電波を受信できなかった場合

1. 手動で受信させる

- ③受信ボタンを押してください。(受信を開始します。)
- 受信中は受信マーク  が変化します。
- 受信に要する時間は、最短10秒です。(最長約50分間)
- 受信できなかった場合は、「使用場所について」をお読みの上、場所を変えてもう一度受信させるか、または下項の通り手動で時刻を合わせてください。
- ※GPS衛星は地球上を周回しているため、時間帯によって受信状態が変わります。

2. 手動で時刻を合わせる

- (1) [②セットボタン]を5秒以上押し続けてください。
●時差 (例: 「+9 : 00」) を表示してもそのままボタンを5秒以上押し続けてください。
- (2) [②セットボタン]を押すごとに下図の順で各表示が点滅し、[①進むボタン/戻るボタン]で設定します。
※約5分以上ボタンが押されなかった場合は自動的に終了します。
※[①進むボタン/戻るボタン]を押し続けている間は早送りをします。



【表示部】

[-年- 合わせ表示]
[①進むボタン/戻るボタン]で年を合わせてください。(曜日は自動で合います)

[-月日- 合わせ表示]
[①進むボタン/戻るボタン]で月日を合わせてください。(曜日は自動で合います)

[-時刻- 合わせ表示]
[①進むボタン/戻るボタン]で時刻を合わせてください。※ボタン押した瞬間に0秒表示になります。

[-12/24時間制選択- 表示]
[①進むボタン/戻るボタン]で12時間制または24時間制を選んでください。

- (3) 終了しましたら、[②セットボタン]を押してください。設定が確定されます。
◇時刻と日付の表示位置を切り替えていた場合、確定後に戻ります。

■ 電波の自動受信を止めるには

- ③受信ボタンを約8秒間押し続けてください。
- OFF が4秒間表示され、自動受信をOFFにします。
- ※解除する場合は、再び[③受信ボタン]を約8秒以上押し続けてください。
- ON が4秒間表示され、自動受信をONにします。



■ 自動受信について

自動的に電波を受信し、修正を行います。(受信回数…最多1日4回)

■ 受信結果について

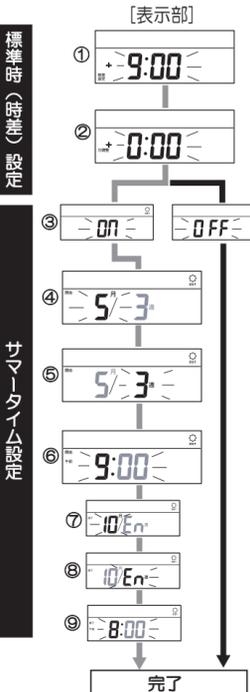
- 受信マークが以下のように表示します。
-  : 24時間以内に受信を成功しています。
-  : 1~6日以内に受信を成功しています。
- 表示がない : 6日以上受信に成功していません。
- (※  または  が表示されている場合は、衛星からのカレンダー情報が受信できていません。)

海外で使用する場合

本製品の初期時刻は日本の標準時 (協定世界時+9時間) に設定されています。その他のタイムゾーンで使用する場合には、以下の手順で標準時 (時差) とサマータイムを設定してください。
●詳しくは「衛星電波クロックについて」の「タイムゾーン、サマータイムについて」をご覧ください。
●この設定機能は日本国内で時刻をずらして使いたい場合にもご活用いただけます。

【設定方法】

- (1) [⑤リセットボタン]を押した後、[③受信ボタン]を押してください。
- (2) [②セットボタン]を約2秒間押し続けてください。
- (3) [②セットボタン]を押すごとに[標準時 (時差) 設定]→[サマータイム]の順で点滅し、[⑤設定ボタン] (進む/戻る) で設定を行います。
※約5分以上ボタンが押されなかった場合は、終了します。
※[①進むボタン/戻るボタン]を押し続けている間は早送りをします。



- ①標準時 (時差) を設定する
[①進むボタン/戻るボタン]で表示させる国・地域の標準時 (時差) を設定してください。
±14時間まで30分単位で入力できます。
 - ②分を調整する
[①進むボタン/戻るボタン]で30分単位では調整しきれない時間 (例: 5分) を設定してください。
±60分まで1分単位で設定できます。
※ネパールなど時差が15分単位の地域はここで設定してください。
 - ③サマータイムの有無を選択する
[①進むボタン/戻るボタン]で選択してください。
on…有り / OFF…無し
※OFFを選択すると設定は終了です。
 - ④開始する月を設定する
[①進むボタン/戻るボタン]でサマータイムが開始する月を設定してください。
 - ⑤開始する週を設定する
[①進むボタン/戻るボタン]でサマータイムが開始する週を設定してください。第1~4週及びEn (最終週) まで設定できます。
 - ⑥開始する時間を設定する
[①進むボタン/戻るボタン]でサマータイムが開始する時刻を設定してください。
1時間単位で設定できます。
 - ⑦⑧⑨終了する月 週 時間を設定する
上記④~⑥と同様に設定してください。
※サマータイムの開始・終了の日付は選べません。全て日曜日となります。
- [②セットボタン]を押す
設定が完了し、受信を開始します。(◆設定を変更しない場合、受信しません。)

＜表：主要都市の時差＞

都市名	時差	都市名	時差	都市名	時差
〈世界協定時〉	0	ニューデリー	+5.5	ソウル	+9
ロンドン	0	バンコク	+7	シドニー	+10
パリ	+1	北京	+8	リオ・デ・ジャネイロ	-3
ベルリン	+1	上海	+8	ニューヨーク	-5
ローマ	+1	香港	+8	ロサンゼルス	-8
モスクワ	+3	台北	+8	ホノルル	-10
ドバイ	+4	東京	+9		

(※国の事情により都市名や時差が変わることがあります。)

設定を確認する

- 通常状態で[①進むボタン]を押すごとに現在の設定された内容を表示します。
- [西暦]、[月/日]表示に続いて、上記で設定した[標準時]、[サマータイム]を①~⑨の順に表示します。(◆①-戻る-ボタンを押した場合は、逆の順番で表示します。)
- ※受信中は、ボタンを押しても表示しません。また、サマータイムがOFFの場合、④~⑨は表示しません。
- ※5秒以上ボタンが押されなかった場合は通常表示に戻ります。

その他の機能

■ 電池切れ予告機能について

この時計には電池切れ予告機能がついています。
電池の残量が少なくなると電池交換マーク  を表示し、交換時期をお知らせします。
新しい電池にすべて交換してください。(◆電池交換マークは製品によって点滅します。)

■ リセットについて

[⑤リセットボタン]を押すと初期化を行います。電池交換後は、「⑤リセットボタン」を押してください。
◇設定された時刻、日付および標準時 (時差) の分調整はクリアされます。
※手動で受信を行う際は、[⑥リセットボタン]を押さずに、必ず[③受信ボタン]を押してください。
頻繁に[⑥リセットボタン]による手動受信を行うと、電池が早く切れてしまう場合があります。